



ご使用前に必ず説明書をご覧ください。

05-05-0015

48mmスモールDNスピードメーター

12V汎用品

SDN S1 KIT

48mm SMALL DN SPEED instruction manual

① まえがき

② ご使用上の注意点

③ キット内容

④ メーター本体の取り付け

⑤ 配線接続

⑤-1 配線概要

⑤-2 電源接続

⑤-3 ガソリン計入力

⑤-4 速度センサー入力

⑥ 操作方法

⑥-1 機能一覧

⑥-2 操作方法

Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA

① まえがき

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。

ご使用に付きましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいます様お願い申し上げます。

取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

○取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

○本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は賠償の責任を一切負いかねます。

○この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

○他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。

○商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。

○性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

○クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた部品に対してのみ、お買上げ後3ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。

○この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

▲注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

○作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンやマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

○作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損・ケガの原因となります。）

○製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。

（ケガの原因となります。）

▲警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

○技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。

（技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）

○作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。

（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

○点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行ってください。

（そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）

○エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

○走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。）

○走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。

（事故につながる恐れがあります。）

○点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従ってください。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

○指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。（部品破損により事故につながる恐れがあります。）

○気化したガソリンの滞留は危険性が有る為、通気の良い場所で作業を行ってください。

② ご使用上の注意点

[ヘッドライトOFFでの走行禁止 / 保安部品を外したレース用車輛]

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造（断線させるだけ）によりライトOFF状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて（光軸も調整して）下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。レース用車輛ですべての保安部品を外すには、専門的な知識と代替部品や追加部品が必要となります。



- H.I.D.キットには品質によりバラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る製品があり、程度によってはメーター故障の原因となりますので取り付けないで下さい。
- 社外品の点火装置及び、イグニッションコイルやプラグコード、レーシングプラグ（抵抗無しタイプ）は悪影響ノイズの増大により故障の原因となる可能性がありますので取り付けないで下さい。また、点火系部品の劣化も点火ノイズ増大に関係します。
- 社外品の発電装置は充電力不足によるバッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けないで下さい。

◎炎天下での放置にご注意下さい。

長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけてください。炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形の恐れがあります。

◎本製品は完全防水ではありません。

防滴構造ですので雨などの通常の水濡れ程度では内部に水は入りませんが、完全防水ではありませんので水の中に浸すなどすると水が浸入してしまいます。万が一本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。

また、湿度が高い時、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込みパネル内面に曇りが発生可能性があります。

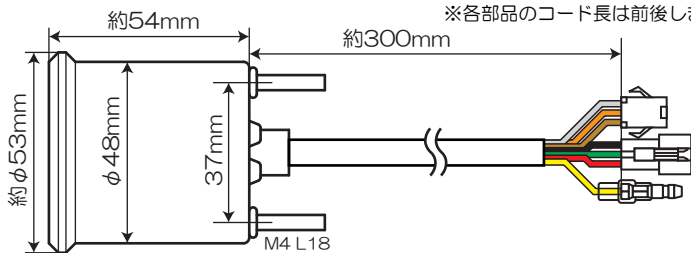
◎激しい衝撃を与えないで下さい。

オフロード走行やジャンプ、ウイリーなど、メーターに強い衝撃を与える行為は行わないで下さい。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。

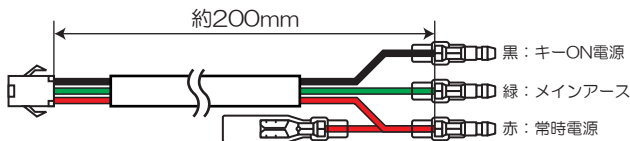
③ キット内容

次ページに続く

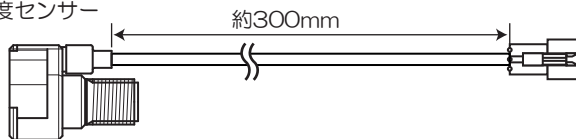
①メーター本体



②電源サブコード



③JISケーブル式速度センサー





番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	メーター本体	1	-	-
2	電源サブコード	1	-	-
3	オスギボシセット	1	00-00-0270	5
4	メスギボシセット	4	-	5
5	メーターステー	1	-	-
6	クッションラバー	2	-	-
7	クッションカラー	2	-	-
8	大径ワッシャー M4用 (4X16X1)	4	00-05-0086	10
9	ナットM4	2	00-00-0398	10
10	速度センサーステー メーターマウントタイプ	1	-	-
11	ワッシャー M4用	2	00-00-0061	10
12	大径ワッシャー M6用 (6X16X1.6)	2	00-00-0227	10
13	アルミスペーサー M6用 (6X10X7)	1	35107-165-T00	1
14	ソケットキャップスクリュー-M6X60	1	00-00-0045	3

⑤-2 電源配線

④ メーター本体の取り付け

リペア品番の記載の無い部品については弊社までお問合せ下さい。

速度センサーセット

05-06-0012

S1	JISケーブル式速度センサー	1	-	-
S2	ソケットキャップスクリュー-M4X16	2	-	-
S3	ナットM4	2	00-00-0398	10
S4	スプリングワッシャー M4用	2	00-00-0399	10
S5	大径ワッシャー M6用 (6X16X1.6)	1	00-00-0227	10
S6	速度センサーステー 90° ハンドタイプ	1	00-05-0088	1
S7	速度センサーステー フラットタイプ	1	00-05-0087	1
S8	タイラップ	2	-	-

④ メーター本体の取り付け

⑤-4 速度センサー入力

オプションパーツ

商品番号

OP	金属反応式速度センサーセット (コード長1750mm)	05-06-0005
OP	金属反応式速度センサーセット (コード長1000mm)	05-06-0009
OP	速度センサー延長コード1000mm (3Pコネクター)	05-06-0010
OP	ミニレギュレーターキット	05-06-0001

⑤-4 速度センサー入力

⑤-2 電源配線



取り付けを誤ると、ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。

本製品は車種別ボルトオン設計品ではありませんので、取り付けにはステー類の加工やバイク側の加工、工夫が必要になります。

メーターステー関連の部品図

メーターステーに速度センサーを固定する事が出来ます。速度センサー専用のステーも2種類付属しています。組み立て図を参照の上、車体へ固定して下さい。

⑤ メーターステー



⑥ クッションラバー

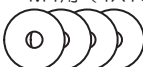


⑦ クッションカラー



⑧ 大径ワッシャー

M4用 (4X16X1)



⑨ ナットM4



⑩ 速度センサーステー

メーターマウントタイプ



⑪ ワッシャー

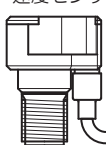
M4用 (4X8X0.8)



↓ 速度センサーセットパーツ

⑪ JISケール式

速度センサー



⑫ ソケットキャップ

スクリュー-M4X16

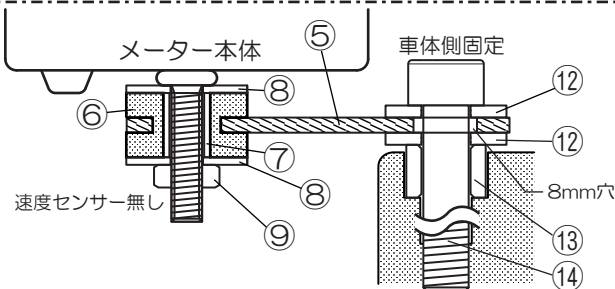


⑬ ナットM4



⑭ スプリングワッシャー

M4用



⑤メーターステーの固定穴はM8ボルト用ですので、M6ボルトで固定する時は⑫大径ワッシャーM6用(6X16X1.6)を挟んで下さい。
⑬アルミスペーサーは、固定部の段差を埋める時にご使用下さい。
⑭ソケットキャップスクリューM6X60は、当社製トップブリッジ標準のハンドルランプと共締め時に使用します。

⑫ 大径ワッシャー

M6用 (6X16X1.6)

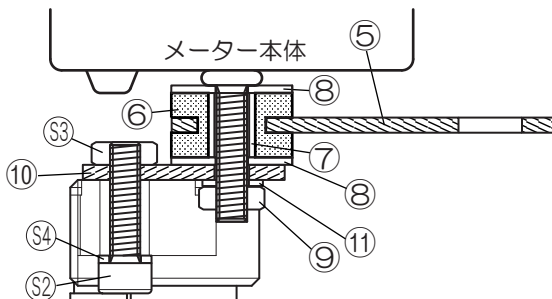
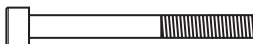


⑬ アルミスペーサー

M6用 (6X10X7)

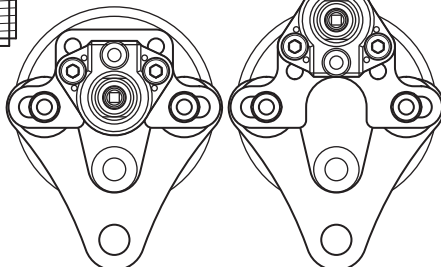


⑭ ソケットキャップスクリュー-M6X60



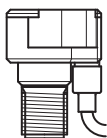
⑪ JISケール式
速度センサー

2箇所の固定穴とセンサーの前後反転で合計4種類の固定位置を選べます。



速度センサーセット

① JISケーブル式
速度センサー



② ソケットキャップ
スクリューM4X16



⑤ 大径ワッシャー
M6用 (6X16X1.6)



③ ナットM4



⑥ 速度センサーステー
90° ベンドタイプ



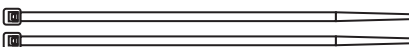
④ スプリングワッシャー
M4用



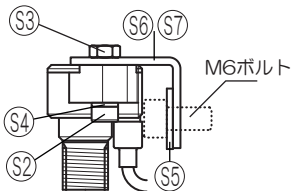
⑦ 速度センサーステー
フラットタイプ



⑧ タイラップ



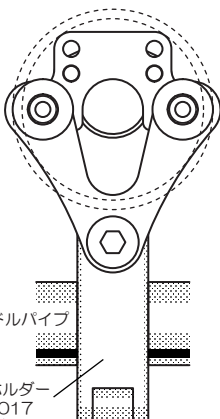
配線結束等でご使用下さい。



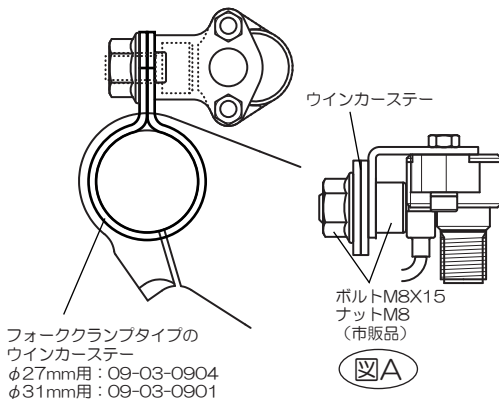
[速度センサーステー]の固定穴はM8ボルト用ですので、M6ボルトで固定する時は[大径ワッシャーM6用]を挟んで下さい。

メーターステー組み付け例

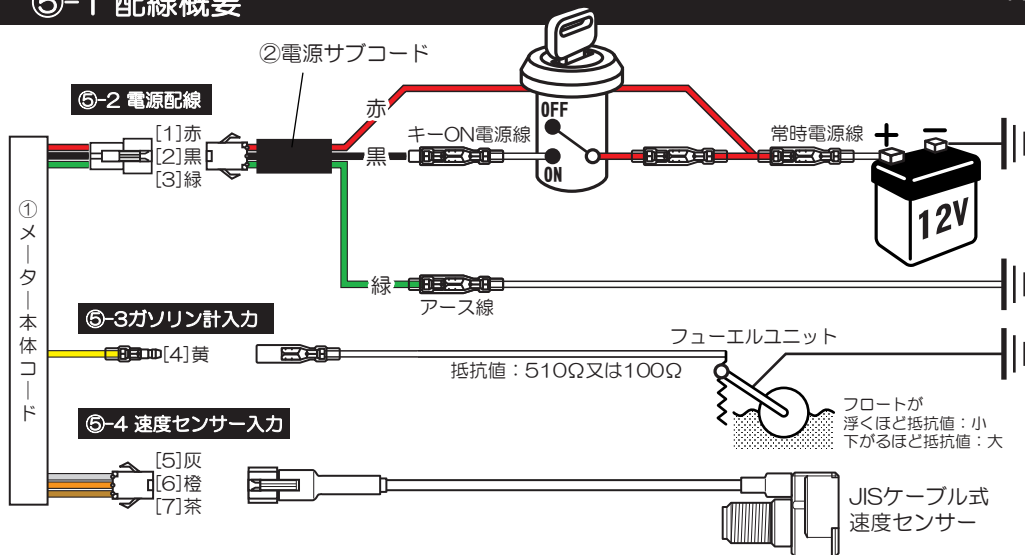
別売のクランプホルダーを使いメーターをハンドルパイプにクランプ。



[速度センサーステー90°ベンドタイプ]使い、別売のウイナーステーと組み合わせてフロントフォークに速度センサーをクランプ。



⑤-1 配線概要



No.	配線色	機能	No.	Color	Function
[1]	赤	常時電源入力 (DC12V)	[1]	Red	Battery (DC12V)
[2]	黒	キーON電源入力 (DC12V)	[2]	Black	Ignition-SW on (DC12V)
[3]	緑	メインアース (GND)	[3]	Green	Main GND
[4]	黄	ガソリン計入力 (抵抗値)	[4]	Yellow	Fuel Signal Input (Ω)
[5]	灰	速度センサー (GND)	[5]	Gray	Speed Sensor (GND)
[6]	橙	速度センサー (5V出力)	[6]	Orange	Speed Sensor (5V Output)
[7]	茶	速度センサー (パルス入力)	[7]	Brown	Speed Sensor (Pulse)

[メーター本体]

●本製品はバッテリーのDC12V (直流) を電源とする事を基本としていますが、AC12V (交流) でも作動可能な回路設計を備えており、バッテリーレス車でも使用出来ます。電圧範囲：DC10V~18V、AC8V~17V
※最低電圧付近では液晶文字濃度やバックライトが薄くなります。

●記録維持は内蔵電池を必要としないフラッシュメモリー式で長期間の常時電源OFFでも各種記録は維持されます。

●バッテリー付き車 (DC12Vバッテリー電源に接続)
・キーONでメーターが起動します。
・すべての機能を使用できます。
・エンジン回転数ごとの電圧変動が少ない安定した電源です。

●バッテリーレス車 (AC12V灯火用電源に接続)
・エンジン始動に伴いメーターが起動します。

※時計機能を使用できません (常時電源駆動の為)。トリップタイマーは使用できます。

※エンジン回転数やヘッドライトなど他の電装類の状況により電圧が変動する不安定な電源なので注意が必要です。別売のミニレギュレーターキット (05-06-0001) の同時装着を推奨します。

電源電圧：DC13.5V時の電流値

待機時 (キーOFF)：約0.7mA
稼働標準値：約95mA
最大値：約125mA

ミニレギュレーターキット (オプションパーツ/05-06-0001)

●40Vまでの入力電圧をDC12Vに変換します。また、レクチファイヤー機能によりAC電源をDC電源に変換します。
※ミニレギュレーターはあくまで車体電装系に問題が発生した時の保護用部品であって、過電圧下での使用を補償するものではありません。電装系に過度の問題がある状態での使用を続け、もし純正レギュレーターが故障し電圧制御の能力を失ってしまうと、ミニレギュレーターの入力最大電圧を超えてしまう可能性があります。

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。メーター側各配線の意味を理解した上で車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

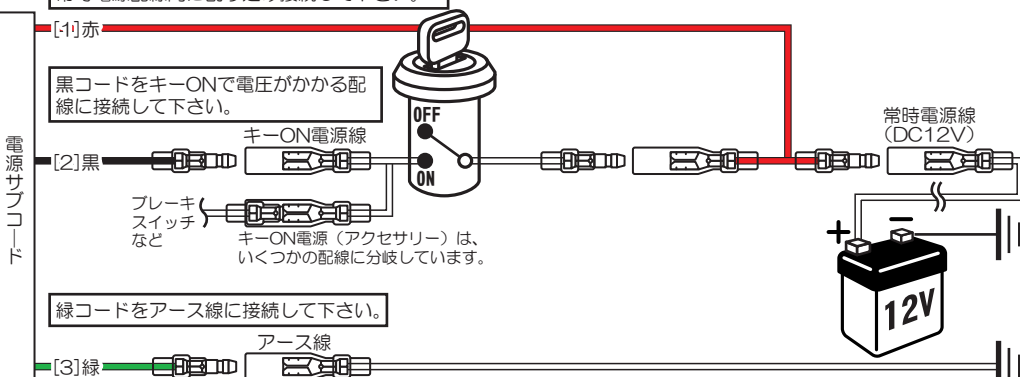
バッテリー付き車 (DC12Vバッテリー電源に接続)

メーター側の配線はホンダギボシサイズ (φ3.5) になっています。車体側にちょうど良い接続箇所が無い場合は付属のギボシを使い接続して下さい。

赤コードをキーOFFでも電圧がかかっている
常時電源配線間に割り込み接続して下さい。

黒コードをキーONで電圧がかかる配線
に接続して下さい。

緑コードをアース線に接続して下さい。



代表配線色 ※車種によって配線色の異なる場合があります。
キーON電源 アース線 キーON電源 アース線

HONDA	黒	赤/黒	緑	SUZUKI	橙	黒/白
YAMAHA		茶	黒	KAWASAKI	茶	黒/黄



キーON (エンジン停止状態) で
メーターの電源が入ります。

[接続上の注意]

- ※キーONだけで電源が入らない場合はバッテリーの劣化もしくは誤配線が原因です。
- ※完全に劣化しているバッテリーを使うと、高回転時、逆に過電圧になるばかりか、過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。
- ※常時点灯車でヘッドライトを消すと電装類のバランスが崩れ、過電圧の要因になりますのでご注意ください。

[アドバイス]

- ・エンジンを停止状態でブレーキランプを点け、さらにウインカーを点けて下さい。点滅速度が異常であればバッテリーが弱っています。

[DC電源とは]

＝直流電源。キーON (エンジン停止状態) 時からエンジン稼働中まで比較的電圧が安定しているバッテリー電源です。車体仕様差はありますが一般的なテスターで電圧を測定すると、キーON時12.5～13V前後、走行中は～14.5V前後となります。
※バッテリー付き車でも、エンジン始動に伴い電圧の発生する配線 (ヘッドライトや尾灯に多い) はAC電源となります。

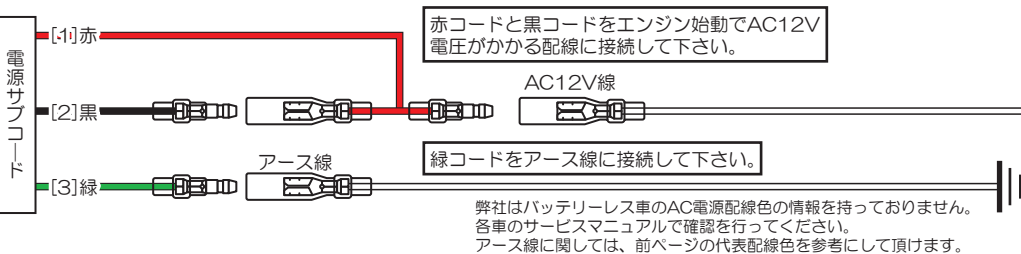
電装類の改造車や電圧確認の知識の無い方は、万が一の過電圧に対して40Vまでの電圧を制御する別売のミニレギュレーターキット (05-06-0001) の同時装着を推奨します。

バッテリー付き車でも、バッテリーの劣化や電装類の不具合により過電圧が発生する可能性があります。

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。メーター側各配線の意味を理解した上で車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

バッテリーレス車 (AC12V灯火用電源に接続)

メーター側の配線はホンダギボシサイズ (φ3.5) になっています。車体側にちょうど良い接続箇所が無い場合は付属のギボシを使い接続して下さい。



- エンジン始動に伴いメーターが起動します。
- 時計機能を使用できません (常時電源駆動の為)。
- エンジンが停止すると駆動電源が遮断される為、指針はその角度で止まったままになります。走行中にエンジンを停止しないようにして下さい。もし、指針の角度がずれてしまった場合でも、再起動時に自動補正されます。

[接続上の注意]

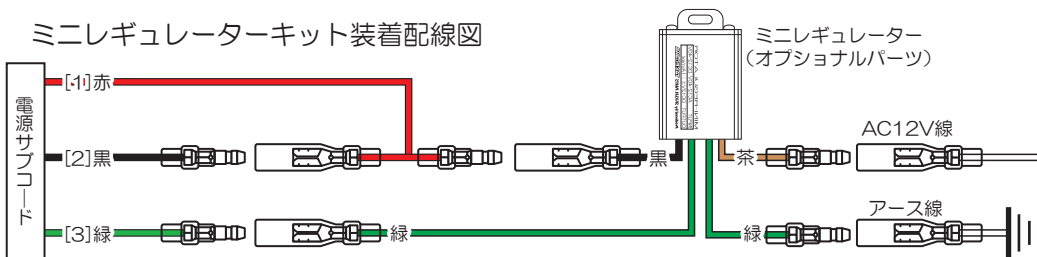
※エンジン回転数やヘッドライトなど他の電装類の状況により電圧が変動する不安定な電源です。電装類の改造車や電圧確認の知識の無い方は、万が一の過電圧に対して40Vまでの電圧を制御する別売のミニレギュレーターキット (05-06-0001) の同時装着を推奨します。

※常時点灯車でヘッドライトを消すと電装類のバランスが崩れ、過電圧の要因になりますのでご注意ください。

[AC電源とは]

＝交流電源。エンジン始動に伴い電圧が発生し、回転数により電圧が変動する不安定な電源です。車体仕様差はありますが、いくつかの不安要素 (高回転時のライトの球切れによる過電圧や、低回転時の電圧不足など) を伴っています。電圧や周波数、波形が安定していないので、一般的なテスターでは正確な電圧を測定出来ません。ほとんどのバッテリーレス車の電装はすべてAC電源です。

ミニレギュレーターキット装着配線図




電装類の改造車や電圧確認の知識の無い方は、万が一の過電圧に対して40Vまでの電圧を制御する別売のミニレギュレーターキット (05-06-0001) の同時装着を推奨します。

⑤-3 ガソリン計入力

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。メーター側各配線の意味を理解した上で車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

フューエルユニット（ガソリンセンサー）接続

- もともとガソリン計が装備されているバイクで、フューエルユニットの満タン時とガス欠時の[抵抗値]が本製品と合えばご使用頂けます。
- ガソリン計を使わない場合、この機能を隠す事（メニューOFF設定）が出来ます。[⑥-2 操作方法]

ガソリン計を使わない（メニューOFF）設定 → 

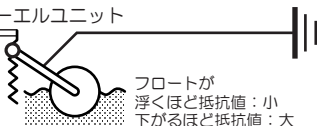
- 主にHONDA車対応の510ΩとYAMAHA、SUZUKI車対応の100Ω、2種類の[抵抗値]を選択できます。
- ※メーター及びセンサーの仕組み上、バイクによってはガソリン満タン時に値が最大値まで上がり難い事があります。

本体コード

[4]黄

抵抗値：510Ω又は100Ω

フューエルユニット



フロートが
浮くほど抵抗値：小
下がるほど抵抗値：大

黄コードをガソリン残量によって抵抗値の変化する配線に接続して下さい。

抵抗値ごとのメーター表示目盛り数

数値	100Ωタイプ	510Ωタイプ
100%	～約10Ω	～約51Ω
90%	約11～約18Ω	約52～約93Ω
80%	約19～約26Ω	約94～約138Ω
70%	約27～約35Ω	約139～約186Ω
60%	約36～約44Ω	約187～約226Ω
50%	約45～約52Ω	約227～約273Ω
40%	約53～約59Ω	約274～約316Ω
30%	約60～約70Ω	約317～約362Ω
20% (点滅)	約71～約77Ω	約363～約402Ω
10% (点滅)	約78～約86Ω	約403～約454Ω
0% (点滅)	約87～	約455～



残量告知機能付きです!!

強制切替機能

残量が少なくなった時（30%→20%、20%→10%、10%→0%）、強制的にLCDをガソリン計モードへ切り替えます。

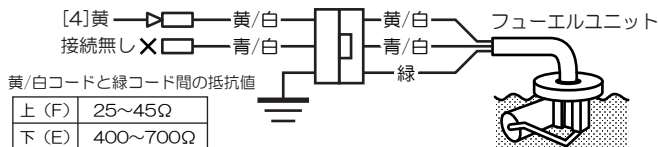
強制表示機能

メーター電源ONの時に必ず10秒間ガソリン計を表示します。もし残量が20%以下の場合、ガソリン計モードのままになります。

同一メーカーでも車種別で配線色の異なる場合があります

HONDA車の例

一部HONDA車で100Ωタイプが採用されています。（当社確認車は一部年式のジャイロX）



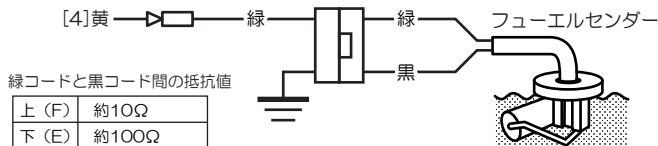
黄/白コードと緑コード間の抵抗値

上 (F)	25～45Ω
下 (E)	400～700Ω

関連ページ **⑥-2 操作方法**

ガソリン計設定：510Ω

YAMAHA車の例



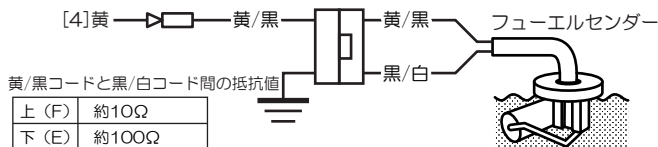
緑コードと黒コード間の抵抗値

上 (F)	約10Ω
下 (E)	約100Ω

関連ページ **⑥-2 操作方法**

ガソリン計設定：100Ω

SUZUKI車の例



黄/黒コードと黒/白コード間の抵抗値

上 (F)	約10Ω
下 (E)	約100Ω

関連ページ **⑥-2 操作方法**

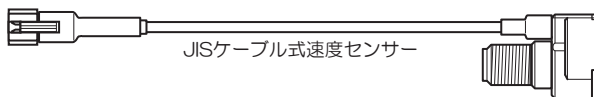
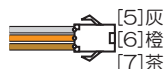
ガソリン計設定：100Ω

速度センサーの接続

- ・ 付属のJISケーブル式速度センサーの上限回転数は4200rpm \div 180km/h相当まで。
(本製品の表示範囲は \sim 160km/h)
- ・ メーターケーブルが接続部の奥まで差し込めた事を確認してから、ケーブルロックナットを締めて下さい。
走行中にケーブルの接続が外れないようプライヤーなどを使いしっかりと取り付けて下さい。
取り付け後も緩みが無いか定期的に点検して下さい。

関連ページ ④ メーター本体の取り付け

関連ページ ⑥-2 操作方法

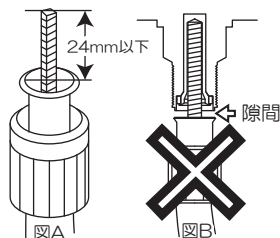
本体
コード

⚠ 注意

本製品はJIS規格に基いたケーブル差込部形状を採用しておりますが、輸入車及び一部国産車ではケーブル加工が必要な場合があります。

ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい(図A)。24mmを超える場合はその部分をカットして下さい。

図Bのように底つきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識出来なくなってしまいます。



速度信号長さ設定と速度信号回数設定について（メーター側設定）

- 車種に関わらず、ノーマルタイヤ、ノーマルメーターギアを使用している場合、メーター側の設定は714mm、6信号です。[⑥-2 操作方法]で設定。
- 国内車輛はJIS規格によりメーターケーブル回転数が1400rpm時60km/hと定められおり、これを換算した値が714mm、6信号である為です。
- 他車種のホイール流用などの場合でも、そのホイール用のメーターギアをセットで使用すれば、同様に標準補正值は714mm、6信号です。
- メーターギアはノーマルを使用しながら、タイヤ周長がノーマルから変化した場合は速度補正の必要があります。
- 外品のインチアップホイールに交換した場合。
- タイヤサイズを変更した場合。

関連ページ **⑥-2 操作方法**

速度補正值調べ方1

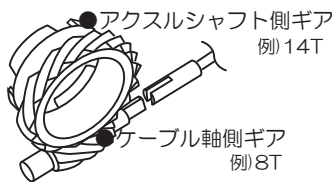
- メーターギアと現在装着している改造後タイヤ周長から割り出す方法です。
※ 分解時に破損の恐れがあります。十分に気を付けて作業を行ってください。

（メーターギアBOX内部）

- 1.メーターギアを分解してギア山数を数えます。

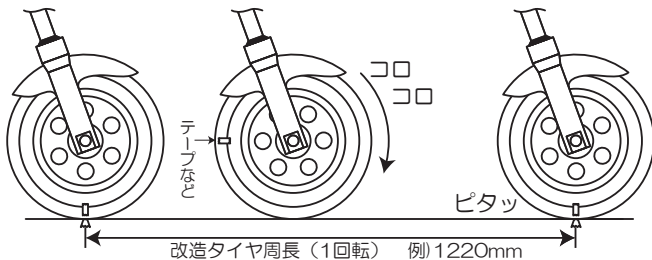
数値A	数値B
ケーブル軸側	アクスルシャフト側

ギアボックス種類	モンキーノーマル	武川10インチ用
ケーブル軸側	8T	9T
アクスルシャフト側	13T	17T



- 2.テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを1回転させてその距離を測ります。

数値C
タイヤ周長(mm)
例 1220mm



- 3.下記計算式から値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が“速度信号長さ設定”の値となります。
“速度信号回数設定”は“6”を入力して下さい

関連ページ **⑥-2 操作方法**

数値A	÷	数値B	×	数値C	=	補正值
例 8T		例 14T		例 1220mm		例 ≒ 697mm

速度補正值調べ方2

- ノーマルタイヤと変更後のタイヤを比較する方法です。

関連ページ **⑥-2 操作方法**

それぞれのタイヤ周長を測って下さい。
下記計算式から値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が“速度信号長さ設定”の値となります。
速度信号回数設定は“6”を入力して下さい

数値A	÷	数値B	×	714	=	補正值
変更後のタイヤ周長		ノーマルタイヤ周長				例 ≒ 697mm
例 1220mm		例 1250mm				

金属反応式速度センサーのご案内 (別売オプションパーツ)

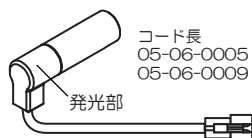
金属反応式速度センサーセット (コード長1750mm)	商品番号: 05-06-0005
金属反応式速度センサーセット (コード長1000mm)	商品番号: 05-06-0009
速度センサー延長コード1000mm	商品番号: 05-06-0010

- マグネットの要らない金属 (スチール) 反応式を採用し、取り付け場所の自由度高い速度センサーです。
- ・ 磁力に反応する金属の接近に連動メーターに信号を送ります。
(センサー内部にある磁石と吸い付くように極性を合わせる事で、マグネットに反応させる事も可能です。)
- 反応時のみセンサー部のブルーLEDが消灯し作動確認も容易です。
- ・ 反応距離範囲がとても短い為、位置を微調整する事でブレーキディスクボルトなどの僅かな凹凸から速度を検知出来ます。

注意

メーター付属のJIS規格スピードメーターケーブルが使用できない状況のカスタムバイク用にご用意した速度センサーです。
車種別ボルトオン設計品ではありませんので、取り付けにはステー類の加工やバイク側の加工、工夫が必要になります。

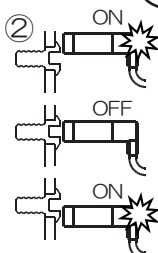
金属反応式速度センサー M8 速度センサーブラケット M10 速度センサーブラケット 六角穴付き止めネジ 2個



- バイクに合わせて取り付けにブラケットの加工や自作を行い、センサーを車体にセットして下さい。
- ・ 付属の止めネジは、M8、M10速度センサーブラケットに差し込み、速度センサー固定に使います。センサーの金属部の範囲で止めネジを使って下さい。
- ・ フロントホイール側、リアホイール側どちらでも良いので、適切な場所を良く検討して下さい。
- ※ 付属のM8、M10速度センサーブラケットを、他部品の固定のボルトと共締めする場合はお客様でブラケットの厚み分、5mm長いボルトを用意して下さい。
- ※ 可動部ではコードに十分たるみを持たせ、両サイドをタイラップ等でしっかり固定し、可動部の動きでコードの付け根 (センサー側、コネクター側) に負荷がかからない様にして下さい。

警告

アクスルシャフトとの共締めは、締め付けトルクに対するブラケットの強度不足が考えられますので、推奨致しません。

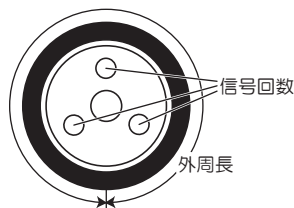


- ① 信号間隔は必ず等間隔になるようにして下さい。変則間隔では正確な速度を表示出来ません。
- ② 六角穴付きボルトで信号を拾う場合、ボルトの中心とセンサー中心がずれるようにセットして下さい。中心を合わせますと図のように六角穴のところで一度信号がOFFになり、信号が等間隔にならないので注意して下さい。

“アドバイス”
もし、丁度良い所にセンサー反応部が無い場合は、ワッシャの様な小さな鉄の破片をエポキシボンド等で貼り付けて反応部を作って下さい。

発光部 (ブルーLED) の点滅で、セット位置を微調整して下さい。

速度信号長さ設定と速度信号回数設定について (メーター側設定)



速度信号長さ設定

タイヤ1回転あたりの進行距離 (タイヤの外周長)
範囲: 300~2500mm (単位: 1mm)

速度信号回数設定

タイヤ1回転あたりの信号回数
範囲: 1~60信号 (単位: 1信号)

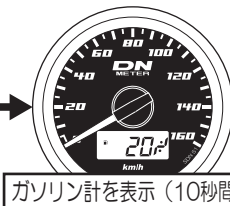
スピードメーター	DNモーター駆動。～160km/h。セパレートタイプの速度センサー仕様。 速度表示の[ズレ]を補正可能。設定範囲：300～2500mm、1～60パルス 付属速度センサー標準値：714mm-6信号、換算補正範囲：約42%～350%	④ ⑤-4 ⑥-2
オドメーター	～99999km（1km単位）。ユーザーオド設定機能付き。	⑥-2
トリップメーター	～999.9km（100m単位）。Lボタン長押しで消去。	
時計	Lボタン長押しで時計合わせ。Rボタン長押しで端数処理。メニューOFF設定対応。	⑥-2
トリップタイマー	～99時間59分（1分単位）。Lボタン長押しで消去。メニューOFF設定対応。	⑥-2
ガソリン計	0%～100%（10%単位）。100/510Ω切り替え可能。メニューOFF設定対応。	⑤-3 ⑥-2

ガソリン残量告知機能

本製品はガソリン計をLCD内の切り替え表示としている為、ガス欠防止に役立つ2つの残量告知機能を備えています。

強制表示機能

メーター電源ONの時に10秒間ガソリン計を表示します。
もし残量が20%以下の場合、ガソリン計モードのままになります。



残量が20%以下の場合 → そのまま
ガソリン計モード

残量が30%以上の場合 → 前回終了時のモードに切り替わる

※メニューOFF設定時は表示されません。

走行前の残量確認。

強制切替機能

残量が少なくなった時（30%→20%、20%→10%、10%→0%）、
強制的にLCDをガソリン計へ切り替えます。



残量が30%から20%に変化 →

残量が20%から10%に変化 →

残量が10%から0%に変化 →



メニューOFF設定

取り付ける車種によっては使えない機能や、お客様によっては不要と思う機能を隠す事が出来ます。
対応の機能は「時計」「トリップタイマー」「ガソリン計」の3つです。
メニューOFF設定はADJモードで行います。

例1) ガソリンセンサーの無いバイクなので、ガソリン計をメニューOFFに設定。

例2) バッテリーレス車は時計機能が使えないので、時計をメニューOFFに設定。

例3) タコメーター側に時計があるので、スピードメーターの時計をメニューOFFに設定。

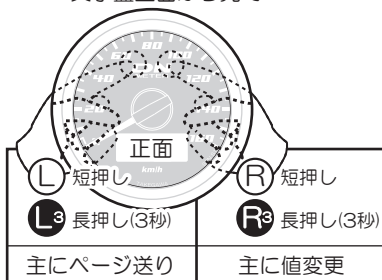




[指針]
スピードメーター

- [LCD]
1 オドメーター
2 トリップメーター
3 時計
4 トリップタイマー
5 ガソリン計

文字盤正面から見て



1 オドメーター



Ⓛ³ ADJモードへ入る
(次ページで説明)

Ⓛ 次モードへ

範囲：～99999km (単位：1km)
ユーザーオドメーター設定機能付き。

2 トリップメーター



Ⓛ³ 距離消去

Ⓛ 次モードへ

範囲：～999.9km (単位：100m)

3 時計



Ⓛ³ 時計合わせ

Ⓡ³ 端数処理

Ⓛ 次モードへ

24時間表示。端数処理機能付き。
メニューOFF設定対応。



1分の位を5分単位に端数処理

例) 13:12→13:00
13:17→13:20

4 トリップタイマー (走行時間計)



Ⓛ³ 時間消去

Ⓛ 次モードへ

範囲：～99時間59分 (単位：1分)。
速度5km/h以上でタイマースタート。
メニューOFF設定対応。

タイマー稼動中は「:」が点滅します。

5 ガソリン計



Ⓛ 次項目へ

範囲：0%～100% (単位：10%)。
メニューOFF設定対応。

関連ページ ⑤-4 ガソリン計入力

⏪ オドメーターに戻る

オドメーターモードの時にLボタンを長押しすると、ADJモードに入ります。

L3 ADJモードへ入る



(R) 値変更
(L) 次項目へ

1 速度信号長さ設定

速度センサー1回転あたりの進行距離
範囲: 300~2500mm (単位: 1mm)
標準値: 714mm (0714)

スピードメーターケーブル1回転あたりにバイクの進む距離を入力します。ノーマルタイヤ、ノーマルメーターギアであれば、JIS規格により714mmが標準値となります。

関連ページ ⑤-4 速度センサー入力



(R) 値変更
(L) 次項目へ

2 速度信号回数設定

速度センサー1回転あたりの信号回数
範囲: 1~60信号 (単位: 1信号)
標準値: 6信号 (06P)

付属のJISケーブル式速度センサーは6信号です。オプションパーツの速度センサー使用時に設定を変更します。

関連ページ ⑤-4 速度センサー入力



(R) 値変更
(L) 次項目へ

3 時計のメニューOFF設定

時計機能を使用しない場合はOFF
範囲: ON, OFF



(R) 値変更
(L) 次項目へ

4 トリップタイマーのメニューOFF設定

トリップタイマーを使用しない場合はOFF
範囲: ON, OFF



(R) 値変更
(L) 次項目へ

5 ガソリン計設定 (メニューOFF設定)

ガソリンセンサーの抵抗値、ガソリン計を使用しない場合はOFF
範囲: 510Ω, 100Ω, OFF

※スクーターなどガソリンセンサーのあるバイクのみ対応

関連ページ ⑤-4 ガソリン計入力

メーターオド 00750 km 1.5秒間表示



(R) 値変更
(L) 次項目へ

↑ オドメーターに戻る

6 ユーザーオドメーター設定

オドメーター任意値の設定
範囲: 00000~99999km (単位: 1km)

通常画面でのオドメーターの距離を任意値に変える事が出来ます。メーターオド (图中750km) は、このメーター使用後からのオドメーター値です。